

（1）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

関西方面で将来、管理栄養士の資格をとることができ、自分のやりたい事ができる私大を探していましたが、同志社女子大学を見つけました。詳しく調べてみると、臨地実習が豊富で、国家試験対策も充実しているのでこの大学を志望校にしましたと思ひました。

（2）推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

1学期は、同志社女子大を志望校にこれから、国立大学を目指していましたが、参考にならないかもしれません、平日4時間、休日8時間を急須に置く、数学と英語を中心で受験勉強しました。授業もしっかり聞く、定期テストも落ちないように、一生懸命勉強していました。

〔夏休み〕

夏休みは、センター試験の勉強に賭けるべき。と言われていたので、ずっと、センター試験の対策をしていました。この時は、毎日10時間勉強を目標にしていました。夏休みは、勉強する時間がおり、1日全科目勉強するかないと決め英語の長文と、リスニングと最低でも2題解くかと自分なりの目標を立て勉強していました。英語は1日でも触れないかと、一気に落ちる科目なので重点的に元気張りました。

〔2学期～入試直前〕

2学期に入ると、同志社女子大学の推薦を受けると決めたので、より遅いスタートでした。残り2ヶ月しかなかったのでかなり焦りました。最初に過去問と解いたとき、生物が2割程度、英語が6割程度でした。生物が低すぎたので、どうしようと思つたのですが、生物は1科目暗記科目で200点と配点も大きかったので、生物を極めたら合格でした。と信じて生物だけずっと勉強していました。過去問とよく似た問題が生物の問題集に載っていたので問題集を2周も3周もしていました。生物の問題集をひたすらにやった後に、過去問を5年分解きました。

（3）この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は、テレビをあまり見なくて、スマートフォンを沢山いじってしまいます。だから、家では絶対に勉強できませんでした。1番勉強のできる環境は、学校だと思ひます。私の学校はスマートフォンを使用することが禁じられており、必然的にスマートフォンを使用できません。それに外でスマートフォンをいじると、手が数の少ないので速度制限にならぬかとそれが嫌でスマートフォンは、いじれませんでした。その代わり、目標勉強時間達成したら、たくさん家でYouTubeを見ます！！など、終わったら他の娛樂を楽しみに元気張りました。精神的につらくなることもなく、スランプもあまりなく乗りこえました。

（4）受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は、つらく逃げだしたくなります。でも無理せずに元気張ってください。

過去問や問題集にひたすらに取り組めば、不覚もなくなり、学力もついてくると思います。とにかく最後まで諦めないことが重要だと思います。